

2017 年 10 月 4 日
日本土地建物株式会社

「京橋エドグラン」 「2017 年度グッドデザイン賞」受賞

日本土地建物株式会社（千代田区霞が関一丁目 代表取締役社長 平松哲郎）は、昨年 10 月に誕生した「京橋エドグラン」が、このたび「2017 年度グッドデザイン賞」を受賞いたしましたので、お知らせいたします。



〔審査委員の評価〕

歴史的にも貴重な明治屋のファサードを保全しながら、同サイズの新築ビルを並べ、中央通りでの昔の町並みとの調和を図りながら、商業施設を残している。通りからセットバックした奥に高層オフィスタワーを配し、街にやさしい配置計画となっている。ツインビルの中央から、タワーの足元を高く持ち上げて、一般の人が入れる通り抜けとしてのオープンスペースを大胆につくりあげ、今後の都心のまちづくりの手法として高く評価される。

■受賞概要

名称	京橋エドグラン（京橋二丁目西地区第一種市街地再開発事業）
事業主体	京橋二丁目西地区市街地再開発組合
応募者	日本土地建物株式会社（特定業務代行者代表企業）
プロデューサー	京橋二丁目西地区市街地再開発組合 理事長 北原敬三 日本土地建物株式会社 代表取締役社長 平松哲郎
ディレクター	日本土地建物株式会社 都市開発事業部長 永藤厚志 再開発組合事務局長 高橋勝巳（日本土地建物株式会社） 株式会社日建設計 執行役員 黒澤俊彦
デザイナー	株式会社日建設計 執行役員 木村雅一 設計部 設計長 三上楨司 設計部 主管 伊東宏和
応募対象の概要	権利者とデベロッパー・設計会社をはじめとした専門家の共創により約15年間かけて完成させた地域再生プロジェクト。保存・再生した歴史的建築物棟と、新築した再開発棟の2棟でオフィス・商業・文化施設等からなる複合施設を構成。竣工後もタウンマネジメントで街を育む。大街区化による既存区道廃止に伴う歩行者動線確保の課題に、超高層オフィスの直下に半屋外のオープンスペースを設けるダイナミックな空間構成で応え、東京駅前の京橋に、賑やかな広場を創出した。再開発棟の内外装に格子や和柄を用いて歴史的建築物棟との調和を図り、従前の路面店の街並を継承。街づくりを通して「歴史と未来の交差点」を体現する。

■受賞展について

本年11月1日（水）から開催されるグッドデザイン賞受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2017」において、京橋エドグランが紹介されます。

GOOD DESIGN EXHIBITION 2017
会期：11月1日（水）～11月5日（日）
会場：東京ミッドタウン（東京都港区六本木）
<http://www.g-mark.org/gde2017/>

（ご参考）グッドデザイン賞の概要

グッドデザイン賞は、1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を発端とする、日本唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。今日では国内外の多くの企業や団体などが参加する世界的なデザイン賞で、グッドデザイン賞受賞のシンボルである「Gマーク」は、すぐれたデザインを示すシンボルとして広く親しまれています。

<http://www.g-mark.org/>



■ 物件概要

名称	京橋エドグラン
所在地	東京都中央区京橋二丁目2番
交通	東京メトロ銀座線「京橋」駅直結、JR「東京」駅徒歩5分
竣工	2016年10月31日
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造、中間層免震構造
階数	地下3階、地上32階、塔屋2階
建物高さ	170.37m
延床面積	113,456.72 m ² (34,320.65 坪) * 明治屋京橋ビル含まず
基準階貸室面積	2,714.30 m ² (821.07 坪)
用途	事務所、店舗、公共公益施設、駐車場 (234 台)
事業主	京橋二丁目西地区市街地再開発組合
設計・監理	株式会社日建設計
施工	清水建設株式会社
施設管理	日土地ビルサービス株式会社
特定業務代行者	日本土地建物株式会社 (代表企業)、東京建物株式会社、株式会社日建設計、清水建設株式会社

【ニュースリリースに関するお問い合わせ】

日本土地建物株式会社

経営企画部広報室 (中原・中西)

TEL03-3501-6906 FAX03-3506-8940